

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 5 月 20 日 (2021.5.20)

【公表番号】特表 2019-517458 (P2019-517458A)
 【公表日】令和 1 年 6 月 24 日 (2019.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-024
 【出願番号】特願 2018-559303 (P2018-559303)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 8/891 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/891

A 6 1 Q 19/00

【誤訳訂正書】
 【提出日】令和 3 年 4 月 8 日 (2021.4.8)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

日焼け止め組成物であって、

(i) シリコンエラストマーと溶媒とのブレンドと、

(i i) 化粧品として許容される担体と

を含み、前記溶媒が、オクタメチルシクロテトラシロキサン、デカメチルシクロペンタシロキサン、ドデカメチルシクロヘキサシロキサン、メチルトリメチコンとジメチコンとのブレンド、およびこれらの混合物から選択される揮発性シリコン油であり、かつ

前記シリコンエラストマーが、式 I の化学構造を有し、

ここで、

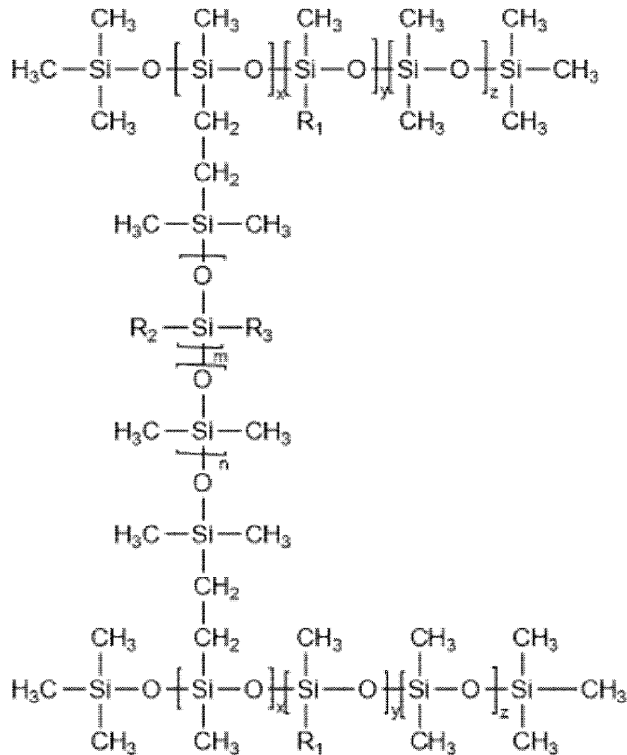
各 R_1 は独立して $C_{4 \sim 36}$ のアルキル鎖であり、

各 R_2 は独立してフェニルまたは CH_3 であり、

各 R_3 は独立してフェニルであり、かつ

各 x は独立して $3 \sim 100$ の整数であり、各 y は独立して $1 \sim 100$ の整数であり、各 z は独立して $1 \sim 100$ の整数であり、各 m は独立して $1 \sim 100$ の整数であり、かつ各 n は独立して $4 \sim 1000$ の整数である、
 組成物。

【化 1】



式 I の化合物

【請求項 2】

式 I において、各 R_1 は、独立して C_{8-18} のアルキル鎖である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

式 I において、各 x は独立して 3 ~ 20 の整数であり、各 y は独立して 1 ~ 20 の整数であり、各 z は独立して 6 ~ 50 の整数であり、各 m は独立して 5 ~ 30 の整数であり、かつ各 n は独立して 40 ~ 500 の整数である、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

0.1 ~ 30 重量% の有機日焼け止め剤を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記組成物が有機日焼け止め剤を実質的に含まない、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

0.1 ~ 10 重量% の有機日焼け止め剤を含み、前記剤が UV-A 日焼け止め剤である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

0.1 ~ 20 重量% の有機日焼け止め剤を含み、前記剤が UV-B 日焼け止め剤である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記揮発性シリコン油がデカメチルシクロペンタシロキサンである、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記シリコンエラストマーの前記 R_1 が C_{1-2} のアルキル基である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

前記シリコーンエラストマーの前記 R_2 がフェニル基である、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

前記シリコーンエラストマーのアルキルのモル含有量が、0.01 ~ 0.99 である、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

前記シリコーンエラストマーのアルキルのモル含有量が、0.02 ~ 0.20 である、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記シリコーンエラストマーのフェニルのモル含有量が、0.01 ~ 0.50 である、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

前記シリコーンエラストマーのフェニルのモル含有量が、0.03 ~ 0.34 である、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記シリコーンエラストマーと溶媒とのブレンドが、前記ブレンドの 1 ~ 70 重量% の量のシリコーンエラストマーを含む、請求項 1 ~ 14 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 16】

前記シリコーンエラストマーと溶媒とのブレンドが、前記ブレンドの 5 ~ 50 重量% の量のシリコーンエラストマーを含む、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記シリコーンエラストマーと溶媒とのブレンドが、1 : 20 ~ 2 : 1 の重量比で前記シリコーンエラストマーおよび前記溶媒を含む、請求項 1 ~ 16 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 18】

前記シリコーンエラストマーと溶媒とのブレンドが、1 : 15 ~ 1 : 1 の重量比で前記シリコーンエラストマーおよび前記溶媒を含む、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 19】

組成物全体の 0.1 ~ 60 重量% の量で前記シリコーンエラストマーと溶媒とのブレンドを含む、請求項 1 ~ 18 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 20】

組成物全体の 1 ~ 40 重量% の量で前記シリコーンエラストマーと溶媒とのブレンドを含む、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 21】

前記組成物が皮膚軟化油をさらに含む、請求項 1 ~ 20 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 22】

請求項 1 ~ 21 のいずれか一項に記載のパーソナルケア組成物をそれを必要とする個体の皮膚に局所適用するステップを含む、スキンケアの利益を提供するための方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

第1の態様において、本発明は、パーソナルケア組成物であって、

i) シリコーンエラストマーと溶媒とのブレンドと、

ii) 化粧品として許容される担体と

を含み、溶媒が、オクタメチルシクロテトラシロキサン、デカメチルシクロペンタシロキサン、ドデカメチルシクロヘキサシロキサン、メチルトリメチコンとジメチコンとのブ

レンド、およびこれらの混合物から選択される揮発性シリコン油であり、かつシリコンエラストマーが、式 I の化学構造を有し、ここで、

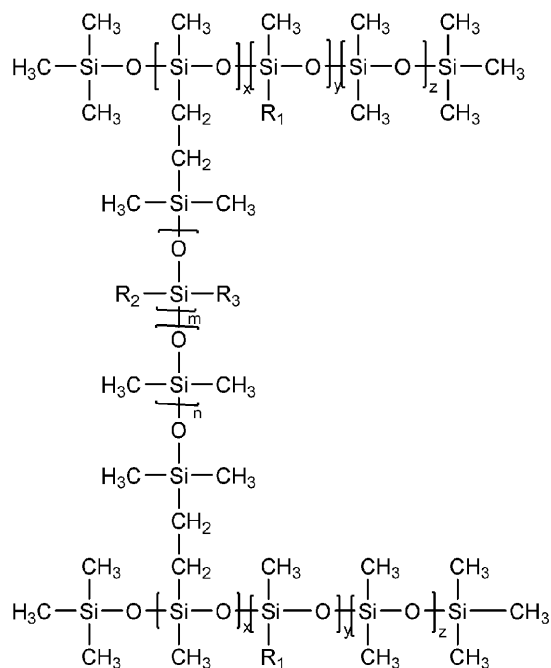
各 R_1 は独立して C_{4-36} のアルキル鎖、好ましくは C_{8-18} であり、

各 R_2 は独立してフェニルまたは CH_3 であり、

各 R_3 は独立してフェニルであり、かつ

各 x は独立して $3 \sim 100$ 、好ましくは $3 \sim 20$ の整数であり、各 y は独立して $1 \sim 100$ 、好ましくは $1 \sim 20$ の整数であり、各 z は独立して $1 \sim 100$ 、好ましくは $6 \sim 50$ の整数であり、各 m は独立して $1 \sim 100$ 、好ましくは $5 \sim 30$ の整数であり、かつ各 n は独立して $4 \sim 1000$ 、好ましくは $40 \sim 500$ の整数である、組成物に関する。

【化 1】



式 I の化合物

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0031

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0031】

シリコンエラストマーと溶媒とのブレンド

本明細書中で使用する場合、シリコンエラストマーとは、シリコンポリマーの架橋粒子であって、溶媒中で有意に膨張して、粘弾性の軟固体として振る舞う空間充填材料を形成するものを意味する。一般に、シリコンエラストマーは、溶媒中のシリコンエラストマーの分散液であるシリコンエラストマーと溶媒とのブレンドで使用される。シリコンエラストマーと溶媒とのブレンドは、ヒドロシリル化反応を通じて調製できる架橋ゲルである。該反応は低レベルの触媒、通常は白金誘導体を伴い、一般に、適切な溶媒中で行われる。水素化ケイ素 (SiH) 含有シリコンポリマーをジビニル材料と反応させて独立したシリコン鎖を連結する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 7 】

アルキル修飾された機能性シリコンエラストマーは、ヒドロシリル化触媒を使用することによる、a) 水素化ケイ素含有ポリシロキサン、b) アルケン、および c) ビニル末端ジメチルポリシロキサンの反応から調製することができる。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 8

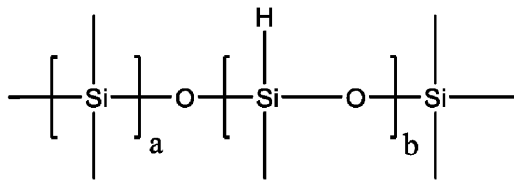
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 8 】

水素化ケイ素含有ポリシロキサンは、一般式：

【化 2】



(II)

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 0 】

本明細書中で使用する場合、水素化ケイ素含有量は、1 グラムのポリシロキサンあたりの水素化ケイ素基のモルを意味する。典型的に、ポリシロキサンの水素化ケイ素含有量は、ポリシロキサンの総重量に基づいて、0.016 ~ 16.6 mM / g、より好ましくは 1 ~ 10 mM / g、最も好ましくは 3 ~ 8 mM / g に及び、また、これらに包含される全ての範囲が挙げられる。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 1 】

追加的または代替的に、水素化ケイ素含有ポリシロキサンは、10 ~ 1000 センチストークス (cSt)、好ましくは 20 ~ 500 cSt、より好ましくは 25 ~ 150 cSt、最も好ましくは 30 ~ 80 cSt の粘度を有する。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 2 】

市販されている好適な水素化ケイ素含有ポリシロキサンとしては、AB Specialty Silicones の Andisil XL - 10、Andisil XL - 11、Andisil XL - 15 が挙げられる。

【誤訳訂正 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0046

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0046】

ビニル末端ジメチルポリシロキサンは、水素化ケイ素含有ポリシロキサンとの反応のために利用可能であり得るビニル側基を含有する。

【誤訳訂正10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0050

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0050】

反応において、アルケンは水素化ケイ素含有ポリシロキサンと反応してアルキル修飾されたポリシロキサンを形成し、これがビニル末端ジメチルポリシロキサンと反応してアルキル修飾されたシリコンエラストマーを形成する。

【誤訳訂正11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0052

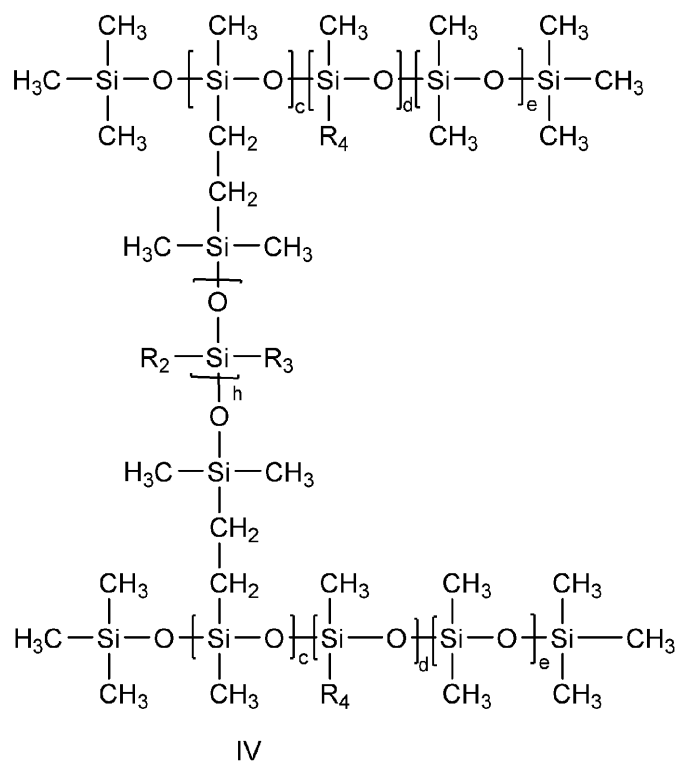
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0052】

好ましい実施形態では、アルキル修飾された機能性シリコンエラストマーは、一般式

【化4】



【誤訳訂正12】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0054

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0054】

フェニル修飾された機能性シリコンエラストマーは、ヒドロシリル化触媒を使用することによる、a) 水素化ケイ素含有ポリシロキサン、およびb) ビニル末端ジメチルフェニルポリシロキサンの反応から調製することができる。

【誤訳訂正13】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0055

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0055】

水素化ケイ素含有ポリシロキサンは、上記したものと同一である。

【誤訳訂正14】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0058

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0058】

ビニル末端ジメチルフェニルポリシロキサンは、水素化ケイ素含有ポリシロキサンとの反応のために利用可能であり得るビニル側基を含有する。

【誤訳訂正15】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0062

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0062】

好ましくは、水素化ケイ素含有ポリシロキサンおよびビニル末端ジメチルフェニルポリシロキサンは、1:200~200:1、より好ましくは1:50~50:1、最も好ましくは1:30~30:1の重量比で反応混合物中に存在する。

【誤訳訂正16】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0064

【訂正方法】変更

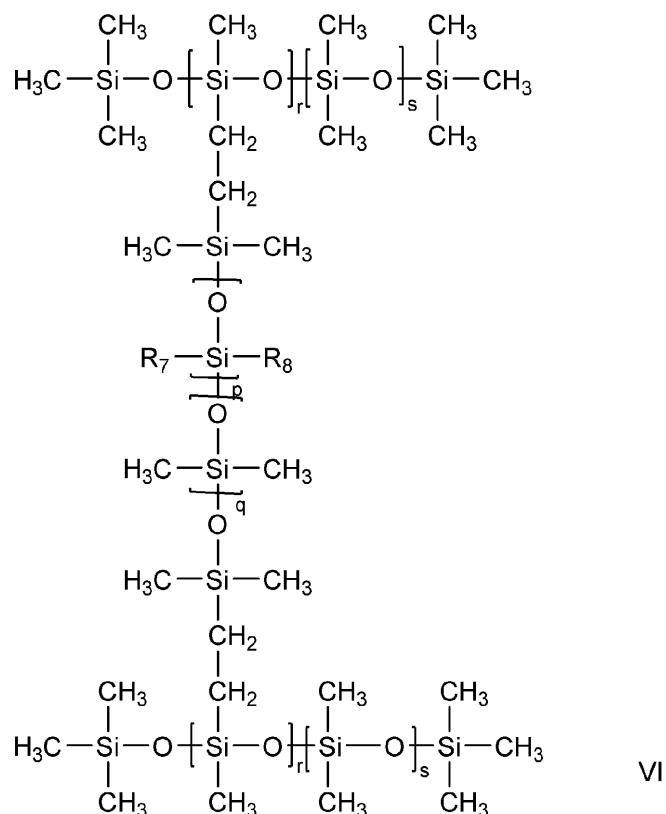
【訂正の内容】

【0064】

好ましい実施形態では、フェニル修飾された機能性シリコンエラストマーは、一般式

:

【化 6】



【誤訳訂正 17】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0066

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0066】

二重（アルキルおよびフェニル）修飾されたシリコーンエラストマーは、ヒドロシリル化触媒を使用することによる、a) 水素化ケイ素含有ポリシロキサン、b) アルケン、および c) ビニル末端ジメチルフェニルポリシロキサンの反応から調製することができる。

【誤訳訂正 18】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0067

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0067】

水素化ケイ素含有ポリシロキサン、アルケン、およびビニル末端ジメチルフェニルポリシロキサンは、上記したものと同一である。

【誤訳訂正 19】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

二重修飾されたシリコーンエラストマーは、反応物を合わせるることによる2ステップの合成を通じて調製することができる。第1のステップでは、アルケンを水素化ケイ素含有ポリシロキサンと反応させてアルキル修飾されたポリシロキサンを形成させる。第2のステップでは、アルキル修飾されたポリシロキサン上の残った未置換の水素化ケイ素基をビ

ニル末端ジメチルフェニルポリシロキサン上のビニル側基と反応させて二重修飾されたシリコーンエラストマーを形成させる。

【誤訳訂正 2 0】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 9】

第 1 のステップについて、反応混合物の温度は、水素化ケイ素含有ポリシロキサンおよびアルケンが反応してアルキル修飾されたポリシロキサンを形成できる任意の好適な温度であってよい。好ましくは、反応混合物の温度は 5 ～ 1 0 0 、より好ましくは 1 0 ～ 8 0 、最も好ましくは 2 0 ～ 6 0 である。

【誤訳訂正 2 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 5

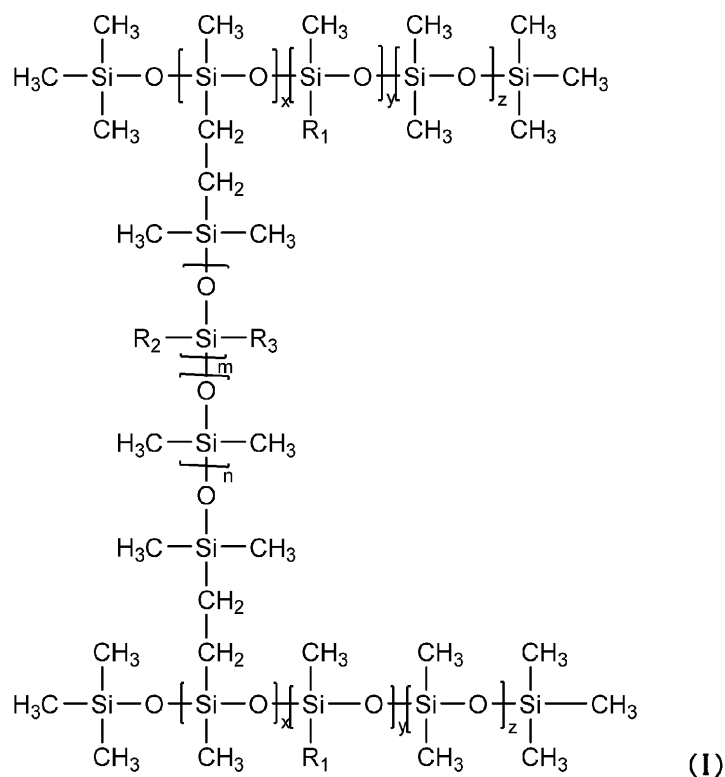
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 5】

好ましい実施形態では、二重（アルキルおよびフェニル）修飾されたシリコーンエラストマーは、一般式：

【化 7】



【誤訳訂正 2 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 9 0】

シリコーンエラストマーと溶媒とのブレンドの調製材料

水素化ケイ素含有ポリシロキサン (Andisil XL - 10)、ビニル末端ジメチルポリシロキサン (Andisil VS - 200)、ビニル末端ジメチルジフェニルポリシロキサン (Andisil SF - 2430) は AB Specialty Silicones より購入した。デカメチルシクロペンタシロキサン (DC245) は Dow Corning Corporation より購入した。白金触媒は、Sigma Aldrich のキシレン中の白金 (0) - 1 , 3 - ジビニル - 1 , 1 , 3 , 3 - テトラメチルジシロキサン錯体溶液である。全ての化学物質はさらなる精製をせずに入手したまま使用した。

【誤訳訂正 2 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0106

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0106】

シリコーンエラストマーと溶媒とのブレンドの調製
材料

水素化ケイ素含有ポリシロキサン (Andisil XL - 10)、ビニル末端ジメチルポリシロキサン (Andisil VS - 200)、ビニル末端ジメチルジフェニルポリシロキサン (Andisil SF - 2430) は AB Specialty Silicones より購入した。デカメチルシクロペンタシロキサン (DC245) は Dow Corning Corporation より購入した。白金触媒は、Sigma Aldrich のキシレン中の白金 (0) - 1 , 3 - ジビニル - 1 , 1 , 3 , 3 - テトラメチルジシロキサン錯体溶液である。全ての化学物質はさらなる精製をせずに入手したまま使用した。